

田角勝のこれだけは伝えたい

子どもの意欲を引き出す

摂食嚥下支援

田角勝 編著

食行動の発達の視点から子どもの  
摂食嚥下障害を支援するためのヒントが満載！

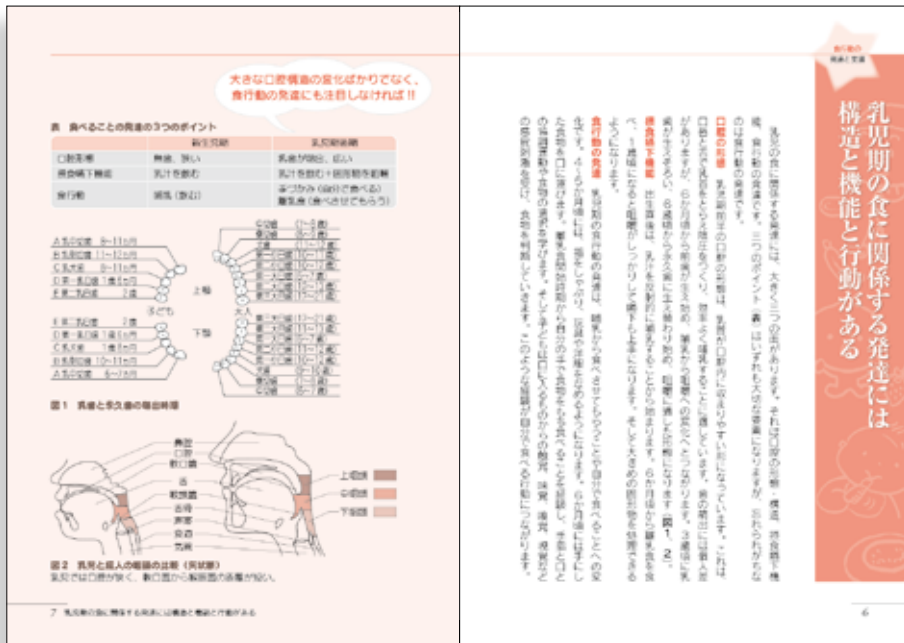


A5判 / 184頁 / 2色  
定価 (本体3,000円+税)  
ISBN978-4-263-44567-9



本書は全編にわたり『子どもが嫌がることをしない』『子どもが能動的に食に向き合い、少しでも楽しむようにする』とこつた姿勢で、小児摂食嚥下障害の支援・対応法についてまとめられています。

乳幼児の保育・食支援・口腔育成にかかわる専門家ばかりでなく、小児摂食嚥下障害にかかわる多くの人たちに役立つよう、わかりやすいイラストや、やさしい言葉で話しかけるように解説しています。



著者より

誰もが獲得しなければならない食べることに、さまざまな理由でつまずくことがあります。このような問題に対して、摂食嚥下障害という視点から子どもの支援と対応を試みてきました。しかしながら、私の思うような成果が得られませんでした。そこで支援や対応法を見直し、食行動の発達という、もっと広い捉え方の支援をする必要があるという考えに至りました。そして食行動の発達の支援や対応法に変えたときから、その成果がみえるようになりました。

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <https://www.ishiyaku.co.jp/>



# Contents

## 1編 食行動の発達と支援

食べる機能の発達は胎児期から始まる  
母乳と母乳育児が大切!!  
乳児期の食に関係する発達には構造と機能と行動がある  
赤ちゃんは6か月から自分で食べる!!  
乳児期に自分で食べることを獲得する  
理想的な離乳食の問題点  
食べる機能と行動を育てる離乳食  
離乳食を食べないときは  
日常生活でおこる自分で食べる機能の発達の阻害  
手づかみ食べがフォークやスプーンの使用につながる  
満腹と空腹のメカニズムの基本  
密接に関係する脳と腸(脳腸相関)  
食の快感が食行動につながる  
食行動に関わる要因は多彩である  
子どもの苦手な酸味と苦味  
不快な経験により味覚の嫌悪学習がおこる  
嘔吐の繰り返しは食べる意欲を失わせる  
乳幼児期の経験はその後の食行動につながる  
保護者が子どもの食事で困ること  
偏食にどのように対応するか

## 2編 子どもの摂食嚥下障害

子どもの摂食嚥下障害の理解  
子どもと大人の摂食嚥下障害は異なる  
摂食嚥下障害の重症度により目標と支援が異なる  
基礎疾患を理解して支援する  
全身状態や合併症が摂食嚥下機能に影響する  
乳児期からの支援が大切  
重症児の食事支援の目標も、楽しい食事  
重症心身障害児に重要な呼吸障害  
摂食嚥下機能に影響するその他の合併症  
摂食嚥下障害の支援と対応はトータルケア

## 3編 食べる機能の評価のポイント

病歴と観察から食べる機能の評価する  
診察から食べる機能の評価する  
食事の状況を見るのが最も大切な評価  
子どもが嫌がる状況を感じ過敏と誤ってはいけない  
普段の食事を再現しにくい子どもの嚥下造影検査  
子どもの咽頭の評価に内視鏡検査を活用する  
子どもの栄養必要量の推定は難しい  
栄養摂取と成長を考えた食事の支援のために  
成長曲線から子どもの発育の変化をみる

## 4編 摂食嚥下障害の支援と対応

子どもの摂食嚥下障害の支援を理解する  
摂食嚥下障害の支援は子育ての支援  
食事はコミュニケーションの大切な場面である  
さまざまな経験から食べる機能は向上する  
食べることを嫌がる子どもは、まずは安心と信頼から  
子どもの意欲を引き出す環境づくり  
経管栄養・胃ろうの注意点を理解する  
経腸栄養剤と半固形食の注入の実践  
胃ろうからのミキサー食の注入を活用する  
食べる機能の支援は訓練ではない  
口腔周囲の過敏と歯肉マッサージの考え方  
嚥下に重要な口唇の閉鎖  
重症児は誤嚥性肺炎を予防する  
姿勢のコントロールにより摂食嚥下機能を引き出す  
軟らかいものばかり食べていると咀嚼は下手になる  
嚥下調整食分類を活用する  
とろみ調整食品の特性を活かす  
摂食嚥下機能の発達を引き出す食形態を考える  
食べる機能を活かす道具の選択  
食べる機能を考えてコップやスプーン  
能動的な意欲を支え機能向上につなげる  
子どもの摂食嚥下訓練について

## 5編 疾患と摂食嚥下障害

経管栄養を行う早産児、新生児の食行動支援  
脳性麻痺において摂食嚥下障害は重要な合併症  
知的能力障害の食事の支援は子どもの能力を引き出すこと  
低緊張や筋力低下の子どもの食事の支援は姿勢や食形態に注意する  
自閉スペクトラム症の主要症状の一つに偏食がある  
乳幼児食行動発達障害とは  
乳幼児食行動発達障害の対応は年齢があがると難しさが増す  
乳幼児食行動発達障害の対応

Information 摂食嚥下障害児親の会—つばめの会

### 関連書籍のご案内



### 小児の摂食嚥下リハビリテーション 第2版

田角 勝・向井美恵 編著  
小児の摂食嚥下リハビリテーションの定本形態成長と機能発達が複雑にからみあう小児期の摂食嚥下障害がよくわかる!  
■ B5判 / 368頁 / 2色 ■ 定価 (本体5,000円+税)  
ISBN978-4-263-44418-4

### 子どもの歯科訪問診療実践ガイド

多職種と連携して小児在宅歯科医療をはじめよう  
小方清和・田村文誉・小坂美樹・横山雄士 編  
訪問までの手順と訪問してからの連携、基本的な歯科治療・口腔ケアの流れをしっかりと説明。  
実際の訪問・治療、連携例など豊富な実践例を紹介しています。  
■ A4判変型 / 164頁 / カラー ■ 定価 (本体8,000円+税)  
ISBN978-4-263-44549-5

切り取り

## 医歯薬出版 ご注文承り書

田角勝のこれだけは伝えたい **子どもの意欲を引き出す摂食嚥下支援** ( ) 冊

小児の摂食嚥下リハビリテーション 第2版 ( ) 冊

子どもの歯科訪問診療実践ガイド 多職種と連携して小児在宅歯科医療をはじめよう ( ) 冊

●納入店ご指定希望 (ご指定納入店名) ●直送希望 (2つの方法からお選びください)

①	代引 450円	※②の後払いの請求書は(株)ネットプロテクションズから別送となります。
②	後払い400円*	

\*納入店ご指定の場合 手数料はかかりません

●お名前

●ご住所 (〒 — )

●TEL.

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ <https://www.ishiyaku.co.jp/>からもお申し込みいただけます。  
医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL. 03-5395-7630